

提 案 概 要

(北九州市立児童館 4 2 館 指定管理者)

団体名： 社会福祉法人 北九州市福祉事業団

1 指定管理者としての適性について

(1) 児童館の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針	
<p>【理念・基本方針】</p> <p>児童館は地域の児童健全育成の拠点です。当法人では、その役割を強く認識し、地域みなさんと連携しながら、子どもの生活の保全と情緒の安定を図り、一人ひとりの個性と発達段階に応じて、全人格的に健やかに育てていくことを理念としています。そして、北九州市の「元気発進！子どもプラン」（第2次計画）を着実に遂行し、『子供の成長』と『子育て』を地域社会で支え合う『まちづくり』に貢献していきます！</p>	
<p>The diagram features a central box labeled '私たちの気持ち' (Our Feelings). To its left is a box for '★施設運営の基本方針★' (★Facility Management Basic Policy★) containing five items: 1. 生きる力を育む子育て支援 (Child-rearing support to nurture the ability to live), 2. 地域の子育て支援環境づくり (Creating a child-rearing support environment in the community), 3. 問題の発生予防・早期発見と対応 (Prevention of problem occurrence, early discovery, and response), 4. 子育て家庭への支援 (Support for child-rearing families), and 5. 職員の資質と専門性の向上 (Improvement of staff quality and specialization). To the right is a box for '★児童健全育成の基本方針★' (★Child Development Basic Policy★) containing five items: (1) 身体健康増進をはかる (Promote physical health), (2) 心の健康増進をはかる (Promote mental health), (3) 知的な適応能力を高める (Improve cognitive adaptive ability), (4) 社会的適応能力を高める (Improve social adaptive ability), and (5) 情操を豊かにする (Enrich emotions).</p>	
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	
<p>【人的基盤】</p> <p>児童館</p> <p>20～60 代の幅広い年齢層の児童厚生員が勤務し、知識・経験・地域とのつながりの継承により活動を充実させることができます。</p> <p>【財政基盤】</p> <p>(短期的安全性) 法人全体の流動比率 276% (平成 29 年度決算)</p> <p>(長期的安全性) 純資産比率 84%、純資産額 88 億円 (平成 29 年度決算)</p>	<p>法人全体</p> <p>10 種 75 施設を運営。多種多様な福祉・医療専門職を有している専門性を活かし、施設間連携等で、子どもに関する問題解決を含め、さまざまな支援を提供できます。</p>
(3) 実績や経験など	
<p>【児童館運営実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●昭和 41 年、市内初の児童館（藤ノ木児童館）に始まり 52 年間にわたり管理運営を行っています。 ●市と一体となり児童館を中心として児童健全育成を推進しています。 <p>【類似施設の運営実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブ(1 所) ●保育所(16 所) ●緑地保育センター(2 所) ●総合療育センター、総合療育センター西部分所、小池学園、ひまわり学園 (3 所)、発達支援センター「つばさ」等障害児施設の運営 ●多彩な福祉・医療の専門職員による、子ども達への様々な支援提供が可能 	

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み	
(1) 児童館の設置目的の達成に向けた取組み	
<p>【利用者を増加させるための取組み】</p> <p>1 各児童館で子どもの主体性を育む、さまざまな行事・クラブ活動を実施します。</p> <p>エコバスハイク・ホテルの放流等の「環境」活動、一輪車教室・スポーツ鬼ごっこ等の「健康づくり」、警察・消防・ガーディアンエンジェル等の指導による「安全・安心」への取組みといった市の重点項目に関する活動の他、三世代交流等の「地域密着」、買い物体験や野外活動等の「体験活動」、「子どものための児童館と NPO の協働事業 (NPO どんどこプロジェクト)」等、子ども達自ら企画、実施する活動を含め、子ども達の主体性を育むさまざまな行事やクラブ活動を実施します。</p>	

<p>2 地域の幼児や小学生の体力増進を目的に、親子体操教室他、当法人の体力増進指導員が児童館を巡回します。</p> <p>3 ベビーマッサージや育児相談他、子育て家庭を支援する活動を積極的に実施します。</p> <p>4 旧児童センターでの実績を活かし、中高生ボランティアの育成や職場体験を行います。</p> <p>5 他都市でも例のない児童館キャラクター「くーちゃん」、「ナビィ」を活用した積極的なPR活動を実施します。</p> <p>【施設の利便性を高めるための取り組み】利便性を高めるために次の取り組みを実施します。</p> <p>1 緊急時一斉メールの導入 2 放課後児童クラブ緊急一時利用制度の導入（提案）</p> <p>3 放課後児童クラブ開館時間延長（19時まで） 4 放課後児童クラブ申込み手続きの簡素化</p> <p>5 親子ふれあいサロンの充実・拡充</p>
<p>(2) 利用者の満足度向上</p> <p>【利用者の満足を得るための取り組み】</p> <p>母親クラブをはじめとする保護者との連携をさらに深めると同時に、施設や職員への要望を伺う機会の設置、アンケートの実施、苦情・要望提示方法のお知らせ等、利用者ニーズ等を把握し、改善に活かします。また、第三者評価基準ガイドラインの自己評価の実施を行います。</p> <p>【利用者への情報提供】次のような取り組みをはじめ、利用者へのわかりやすい情報提供を行います。</p> <p>1 利用者個別の情報提供 2 「児童館だより」の発行 3 ポスターの掲示やチラシの配布</p> <p>4 ホームページによる情報発信 5 児童館リーフレット、親子ふれあいルームリーフレットの活用</p> <p>6 児童館キャラクター「くーちゃん」、「ナビィ」の活用 7 緊急時一斉メールの導入</p>
<p>【効率性】に関する取り組み</p>
<p>(1) 指定管理業務に係る費用</p> <p>【指定管理業務に係る費用】</p> <p>事業費等経費には、運営に必要な最小限の経費を計上しています。</p>
<p>(2) 収入の増加に向けた創意工夫</p> <p>【収入を増加するための工夫】</p> <p>1 放課後児童クラブ負担金収入の増加のために次のことを考えています。</p> <p>① 入会金の設定の継続 ② 緊急一時利用制度の導入（提案）</p> <p>③ 負担金の収納率維持</p> <p>2 放課後児童クラブ開館時間延長（19時まで）</p>
<p>【適正性】に関する取り組み</p>
<p>(1) 管理運営体制など</p> <p>【統括管理】当法人事務局での人事・財務面の集中管理体制により効率的・効果的な管理運営を行います。</p> <p>【各児童館】適正な人員配置による安全・安心な管理体制で各児童館を運営します。</p> <p>【関係機関との連携】事業団内外の関係機関との連携により、常にサービスの質の向上に努めます。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <p>【個人情報保護の徹底】各種規程を遵守すると同時に、個人情報に関する研修を年1回行います。</p> <p>【平等利用】放課後児童クラブだけでなく、一般来館児童・中高生・乳幼児の親など、子どもに関わる全ての方の利用促進につながる環境整備と行事の充実を行います。</p> <p>【安全対策】安全対策マニュアルに基づく危機管理対策（事故・災害）と地域や警察・消防との共同訓練により発生時に備えます。</p> <p>【危機管理体制】災害発生時には、事務局に災害対策本部を設置し、最善を尽くして利用者の命を守ることはもとより、児童館は当法人本部との連携により地域協力にあたります。</p>

提案額（千円）

31年度	734,414千円
32年度	739,590千円
33年度	748,722千円
34年度	750,472千円
35年度	753,419千円

児童館キャラクター

